

美ら島沖縄

9 SEPTEMBER 2022.
vol. 564

～ちゅらしまおきなわ～

特集

もうすぐ開幕！！国内最大の文化の祭典！
美ら島おきなわ文化祭2022

読者
プレゼント

抽選で10名様に

詳細はP15を
チェック！



復帰 50 周年記念事業
～沖縄の発展のあゆみや将来の可能性、見て、知って、考える機会としよう～



第7回世界のウチナーンチュ大会

第7回世界のウチナーンチュ大会

日程 10月30日(日)～11月3日(木)

主なイベント

- 1 前夜祭パレード 10月30日(日)
- 2 開会式 10月31日(月)
- 3 閉会式・グランドフィナーレ 11月3日(木)

※その他のイベントなど最新情報は、大会ホームページを御確認ください

大会に参加される皆様を歓迎し、多くの県民と交流を深めてもらうため、前夜祭パレードなどの主催イベントのほか、県内市町村および民間団体等が、個性的で楽しいイベントも準備しています！気軽に参加し、友好の輪を広げてください。



沖縄県は、全国でも有数の移民を送り出した県であり、その歴史は1世紀を超えます。先人達は海を越え、遠く離れた国で新天地を開拓し、懸命な努力によって困難を乗り越えてきました。各地で生活基盤を築き、異文化社会の中でしっかりと根を下ろしながら、沖縄独自の伝統文化やアイデンティティを脈々と受け継いできました。

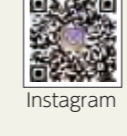
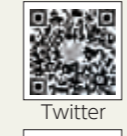
「世界のウチナーンチュ大会」は、沖縄県の貴重な財産である世界各地の県系人の功績を称えるとともに、県民との交流を通してウチナーネットワークを拡大・発展させ、さらに母県である沖縄に集い、そのルーツやアイデンティティを確認し次世代へ継承していくことを目的としています。



第6回世界のウチナーンチュ大会グランドフィナーレ(2016年10月30日)

「大会ボランティア募集中！」

大会の参加者を温かく迎えるとともに、大会をサポートするボランティアスタッフとして、一緒に大会を盛り上げませんか。
英語、スペイン語、ポルトガル語の通訳ができる方、または受付・会場整理等イベントを手伝って頂ける方を募集しています。
申し込みは、9月22日(木)まで。詳しくは大会ホームページをご覧ください。



大会式典(開会式、閉会式・グランドフィナーレ)の参加申し込み受付中
開会式、閉会式・グランドフィナーレは、人と人との絆や繋がりの大切さを胸に、言語や国境を越えて参加者が一体となるイベントです。沖縄にゆかりのあるアーティストによるライブや様々なアトラクションが行われます。式典に参加して世界のウチナーンチュと感動を共有しましょう！
大会式典に参加するには、事前に申し込みが必要です。参加申込みは、大会ホームページで9月末予定まで受付中です。
また、開会式の前日は、各国の民族衣装に身を包んだ世界のウチナーンチュがマーチングバンドや民族音楽に合わせて国際通りで前夜祭パレードを行います。

問い合わせ 第7回世界のウチナーンチュ大会実行委員会事務局 電話:098-866-8060 FAX:098-866-2622

7/22 第1回沖縄県所得向上応援企業認証式
県は、第1回目となる「沖縄県所得向上応援企業認証式」を開催し、玉城知事から、企業16社に認証状の授与を行いました。
「稼ぐ力」に関する万国津梁会議の提言を受け、本年4月からスタートした「沖縄県所得向上応援企業認証制度」は、企業の稼ぐ力の向上を図るとともに、稼いだ企業所得を従業員に適切に還元し、給与所得向上等について積極的に取り組む企業を認証登録する制度です。認証された企業からは、「給与の引



き上げが企業の競争力の強化につながることは間違いありません。認証企業の名に恥じぬよう頑張ってください」等の挨拶がありました。



き上げが企業の競争力の強化につながることは間違いありません。認証企業の名に恥じぬよう頑張ってください」等の挨拶がありました。



7/19 農業大学校学生による実習成果報告及び農大産産物の贈呈
玉城知事は、県立農業大学校の園芸課程や畜産課程で学ぶ8名の学生から、実習の成果報告とマンゴーなどの生産物の贈呈を受けました。
成果報告を行った学生からは、「農業大学校で習得した栽培技術を活かすよう今後も励んでいきたい」との抱負が述べられ、玉城知事は、「皆さんが実践を通して成長し、活躍していくことを心から期待している。これから



らも一緒に沖縄の農業振興のため頑張りますよ。」と激励しました。

7/23 「美ら島おきなわ文化祭2022」100日前プレイベントの開催
美ら島おきなわ文化祭2022(正式名称:第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭の一層の機運醸成を図るため、イオンモール沖縄ライカムにて100日前プレイベントを開催しました。
イベントでは県内で活躍する学生たちによるパフォーマンスや、開閉会式の演出を担当する富田めぐみさん、平田大一さんらによるトークライブなどが催され、訪れた方々へ大会をPRしました。
玉城知事は、「沖縄の素晴



らしい歴史・文化を再認識していただくとともに、未来を担う次の世代にしっかりと沖縄の文化を引き継いでいく契機にしたい」と述べました。



8/1-9 「沖縄空手世界大会2022」の開催
県は、国際性豊かな交流を育むとともに、沖縄で先人たちが体系化し、今日まで受け継がれてきた沖縄空手の技や精神性を保存・継承し、沖縄伝統空手及び古武道の振興を図ることを目的に「沖縄空手世界大会2022」を開催(第2回沖縄空手世界大会)と「第1回沖縄空手少年少女世界大会」を同時開催しました。
本大会は、全年代の空手家が演武を競う初めての世界大会で、競技大会へ参加した選手が日頃の鍛錬の成果を披露



するとともに、世界中から集った沖縄空手愛好家がセミナーなどを通じて親睦を深める機会となりました。



- 9 SEPTEMBER 2022 美ら島沖縄 vol. 564
- 02 復帰50周年記念事業 第7回 世界のウチナーンチュ大会
 - 03 県政フラッシュ
 - 04 特集:もうすぐ開幕!!国内最大の文化の祭典! 美ら島おきなわ文化祭2022
 - 06 沖縄あんなんかんとたん -1987年~1991年編-
 - 08 つながり、みんなで育もう!子どもたちの夢や希望を育む社会へ保育士を全力でバックアップしています!
 - 09 県の動き 1(うなひ~ライフスタイル・ウォーキングのすすめ 日常生活で気軽に楽しく健康づくり) 県の動き 2(犬や猫の譲渡数の増加に向けて「譲渡推進」を10月から供用開始します。)
 - 10 あの作品のロケ地へGO! 美ら島ロケ地めぐり【豊見城市】
 - 11 県の動き3(知っていますか? 11月1日は「琉球歴史文化の日」!)
 - 12 情報ひろば
 - 14 県の動き4("IT"を知って、触れて、体験しよう!)
 - 15 読者プレゼント・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き 令和4年7月1日現在

146万8,428人 総人口 ※前月比628人の増加

63万0,551世帯 世帯数 ※前月比1,069の増加

沖縄県庁広報課 公式LINE @okinawa-government

沖縄県庁広報課 公式ツイッター @okinawa_pref

本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

美ら島沖縄 検索

美ら島沖縄の設置場所
県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方が利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受付致しておりますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世帯向けの個別配布は致しかねます。ご了承ください。

今月の表紙

「世界自然遺産」 山里 美紀子

世界自然遺産である大自然がふれるやんばるなどで希少な動植物が自然に包まれて生息している様子や、自然に癒されながら、トレッキングやカヤックで楽しんでいる人々を描きました。



もうすぐ開幕！！国内最大の文化の祭典！ 美ら島おきなわ文化祭2022

美ら島おきなわ文化祭2022のプログラム
会期中の37日間に、県実行委員会が主催する総合フェスティバル、市町村実行委員会等が主催する分野別フェスティバルの他、連携イベントも含めて、160以上の多様な文化イベントが県内全域で開催されます。

特集

SPECIAL FEATURE

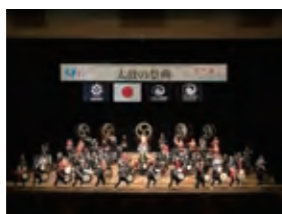
ちむぐる(真心)ゆい(結)フェスタ

障がいのある人のアート作品を全国から募集し展示する全国アート作品展、障がいのある人を含むグループ等が参加する音楽・舞踊・演劇などのステージイベント、障がいのある人もない人も参加する造形ワークショップ、障がいのある人が制作した過去の絵画や写真等のデータをまちなかに展示する「まちなかアート展」、障がいのある人の文化芸術活動をテーマとしたシンポジウム等の開催を予定しています。



市町村主催のイベント

県内の市町村が実施するフェスティバルで、「歴史文化」、「音楽」、「舞踊」、「演劇」、「民俗・行事」、「食文化」、「美術・工芸」、「文芸」、「生活文化」、「文化一般」の各分野において、市町村が全国の文化団体と連携したイベントや地域の文化の特色を活かしたイベントが開催されます。



文化芸術の花 咲いわた

美ら島おきなわ文化祭2022
第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭
令和4年10月22日(土)~11月27日(日) 37日間

開会式・閉会式

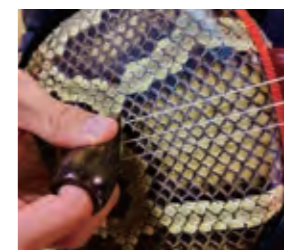
- 開会式 “文化の祭典”の開幕を彩るステージ
開催日: 10月23日(日)
場所: 沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)
- 閉会式 未来につながる文化芸術を表現するステージ
開催日: 11月27日(日)
場所: 那覇文化芸術劇場なはーと(那覇市)



(開会式イメージ)

沖縄音楽フェスティバル

- 開催日: 11月12日(土)
場所: 沖縄アリーナ(沖縄市)
- 古典音楽から、民謡、戦後の沖縄で発展したジャズ、ロック、ポップス等の現代音楽まで、沖縄の音楽を国内外に発信します。
映像やトーク解説を交え、聴衆の一部が三線を演奏し、著名アーティストと共演する「学び・体験型」のプログラム。



沖縄食文化フェスティバル

- 開催日: 11月19日(土)・20日(日)
場所: 21世紀の森屋内運動場・体育館・駐車場(名護市)
- 伝統料理から現代料理まで、泡盛などの酒文化を含む沖縄の食文化を学びながら楽しむイベント。沖縄食文化のトークショー、ライブ演奏や舞踊の他、琉球舞踊等の演舞を鑑賞しながら宮廷料理を試食する沖縄流“食”のおもてなし体験があります。



©OCVB

令和4年10月22日から11月27日にかけて、美ら島おきなわ文化祭2022がいよいよ開催されます。文化の国体とも言われる本大会では、伝統文化や芸能、演劇、音楽、生活文化、食文化等あらゆる文化芸術を味わっていただくとともに、日本における文化の多様性を感じていただけるような大会を目指しています。

広報ボランティア募集中!

お申し込みいただいた方には広報グッズをプレゼントします。

詳しくは、美ら島おきなわ文化祭2022公式ホームページをご覧ください。



©OCVB

美ら島おきなわ文化祭2022についてもっと知りたい!

沖縄観光PR大使「花笠マハエ」ちゃんが、美ら島おきなわ文化祭2022の特別広報大使として、大会情報や沖縄文化の魅力を発信します。

公式HP・SNSで大会の詳細やイベント情報を発信しています。



HP



Facebook



Instagram



Twitter

宮古芸能フェスティバル

- 開催日: 11月6日(日)
場所: マティダ市民劇場(宮古島市)

神に感謝し、ニガイ(願い)をする「奉納芸能」や、そこから娯楽、魅せる芸能へと変化してきた宮古らしい芸能を紹介します。



八重山芸能フェスティバル

- 開催日: 11月13日(日)
場所: 石垣市民会館大ホール(石垣市)

八重山圏域の民俗芸能(豊年祭)を中心に構成するステージやトークコーナーの解説等を通し、分かりやすく、楽しみながら学べるイベントです。



問い合わせ 美ら島おきなわ文化祭2022 沖縄県実行委員会事務局 電話:098-917-1108

1987年～1991年
 その他主な出来事

1987年

- 沖縄コンベンションセンターが開所
- 国内で29年ぶりの金環日食が沖縄本島上空で観測

1988年

- 沖縄水産高等学校が甲子園で20年ぶりのベスト4進出
- 日本で唯一のフリーゾーン(自由貿易地域那覇地区)供用開始

1989年

- 東京から宮古島への直行便が就航
- 首里城正殿の復元起工式を開催

1990年

- 沖縄県庁舎行政棟の落成
- 沖縄水産高等学校、夏の甲子園にて初の準優勝

1991年

- 「沖縄県の休日定める条例」により「慰霊の日」が休日に
- 全国で2番目、沖縄で初の女性副知事(尚弘子氏)が誕生

那覇から名護まで約40分！
 高速道路開通

沖縄自動車道石川～那覇間が10月に開通しました。同時に名護～石川間も一般道から高速道になり、那覇から名護まで約40分で行き来が可能になりました。



沖縄自動車道 那覇～石川開通式の様子 提供:NEXCO西日本



第42回国民体育大会の開会式の様子 提供:沖縄県スポーツ協会

この大会に合わせて、運動公園、陸上競技場などが整備されました。

きらめく太陽
 ひろがる友情がスローガン
 第42回国民体育大会
 (海邦国体)が開催

全国一巡の最後となる同大会は復帰15周年の記念事業として位置づけられ、夏季、秋季で開催。約2万4千人の選手・役員団が熱い技と力を競い、県勢は、天皇杯・皇后杯を獲得しました。



沖縄開発庁長官として入閣した伊江朝雄氏 提供:沖縄タイムス社

伊江朝雄参議院議員が
 沖縄開発庁の第二十六代長官に
 沖縄県出身の
 初の大臣誕生

宮沢新内閣が11月5日に発足したことに伴い、伊江朝雄(いえとも)参議院議員が沖縄開発庁の第二十六代長官に就任しました。戦前戦後を通して初の県出身大臣の誕生に、多くの県民が期待を寄せました。

スポーツを中心に
 沖縄の知名度は
 全国から世界へ！

1987～1991年の5年間で起きた、今日でも続く大きな出来事の一つが、1990年に初めて開催された「世界のウチナーンチュ大会」です。今年の10月には第7回開催が予定され、沖縄県出身者のネットワークの発展に寄与し続けています。また、第42回国民体育大会(海邦国体)の開催や、沖縄水産高等学校の甲子園での躍進など、スポーツの分野で県勢の活躍が相次ぎました。

一方、政治の世界でも、沖縄出身者で初めての大臣が誕生。東京・宮古島間の直行便の就航や高速道路の開通などのインフラ整備も進み、沖縄の知名度や注目度が、国内外で一気に高まった5年間となりました。

会場以外の県内各地でも、歓迎ムードに包まれました。



第1回「世界のウチナーンチュ大会」前夜祭パレードの様子



海外雄飛の沖縄をアピール

世界のウチナーンチュ大会開催

当時の県知事であった西銘順治氏構想のもと、世界各地で活躍する県出身者たちのネットワークづくりを目的に、8月に沖縄コンベンションセンターで初開催されました。海外17か国から約2,400人の県出身者が集い、万国津梁の鐘の除幕式や空手道・古武道世界交流会などが行われ、会場は沸き返りました。

ここがポイント

沖縄における海外への移民は、古くは1895年に渡米した事例があります。海外移民が本格化するのは、1900年のハワイへの移民以降のことです。

沖縄復帰
 50年を
 振り返る

沖縄あんやたん
 かんやたん

1987年～1991年編

2022年5月15日で沖縄が本土復帰して50年。復帰からの50年を毎号5年ごとに振り返り、主なニュースや出来事と共に紹介。その当時から知らない人は学びながら、その当時を知る人は「あんやたん、かんやたん(ああだった、こうだった)」と懐かしみながらその時代を振り返ってみましょう！

協力:沖縄県立芸術文化研究所 共同研究員 仲村顕

島の未来を担う、次世代の「ものづくり」

サンゴに優しい日焼け止め

その名の通りサンゴに有害な化学成分を一切含まない日焼け止めです。セサミオイルやココナッツオイル、ミツロウ、シアバター、ホホバオイル、ラベンダー花油、セイヨウハッカ油、ユーカリ葉油、酸化亜鉛と、わずか9つの天然由来成分だけのシンプル処方で作られており環境に優しいだけでなく、肌にも優しい成分がたっぷり入っているのも魅力的。SPF50+と高い紫外線防御効果を備えながらも、真っ白なバームがとろけるように肌になじみ、たっぷりの美容成分が肌を保湿。自然に肌色をトーンアップできるので、化粧下地にもおすすめです。



【問い合わせ】
 GLE LLC.
www.coralisfriend.com/



HP